

政策番号	6	政策分野	文化
------	---	------	----

基本方針	くらしのなかに文化芸術がいきいきと息づき、ひとびとの豊かな感性が育まれるとともに、そこで生まれる活力やにぎわいが、まちの活性化につながることをめざして、文化芸術とまちづくりを一体化させた取組を促進する。このような取組を通じて、京都を魅力に満ちあふれた世界的な文化芸術都市として創生する。
------	---

担当局	文化市民局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関する 主な分野別計画等	第2期 京都文化芸術都市創生計画, 京都文化芸術プログラム2020 ⁺
--------------------	--

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価	23年度 評価値	32年度 目標値	28 年度	29 年度	30年度評価				
					前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 市民ふれあいステージ出演申込数(件)	103	—	c	a	99	88	99	88.9%	d
2 京都市芸術文化特別奨励制度応募者数(件)	77	82	e	a	99	62	82	75.6%	d
3 文化施設の年間入場者数(人)	3,125,718	—	a	b	2,911,301	3,412,973	2,998,166	113.8%	a
4 本市が指定、登録した文化財の数(件)	7	—	a	a	8	10	8	125.0%	a
			b	a					b

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	28年度	29年度	30年度
0601	すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり(4指標)	b	d	c
0602	歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援(3指標)	c	c	d
0603	世界的な交流を視野に入れた文化芸術環境の向上(2指標)	a	a	c
0604	かけがえのない文化財の保護、活用と伝承(3指標)	a	a	a
(4施策平均)		a	b	c

政策の客観指標総合評価 (政策の客観指標評価: 施策の客観指標評価=1:0.5)	28年度	29年度	30年度
	a	a	b

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		28年度	29年度	30年度
1	京都では、文化芸術にかかわる活動が盛んである。	a	a	a
2	市民の生活に文化芸術がとけ込んでいる。	b	c	b
3	文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。	b	b	b
4	文化財が社会全体で大切にされ、地域の活性化にもつながっている。	b	b	b
政策の市民生活実感調査総合評価		a	b	a

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

28年度		29年度		30年度	
順位	%	順位	%	順位	%
19	78.9%	18	80.0%	17	82.1%

3 総合評価

B	政策の目的がかなり達成されている		
【客観指標総合評価】 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。		29年度	A
【市民生活実感調査総合評価】 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。			
【総括】 ・京都のまち全体に、文化芸術活動が着実に根付き、文化芸術が日々の暮らしの中に浸透しており、この政策の目的はかなり達成されていると評価する。市民自身がより身近に感じ、実際に活動などに参加してもらえよう、更に取組を進めることが重要であるとする。		28年度	A

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		28	29	30
0601	すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり	B	C	B
0602	歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援	B	B	C
0603	世界的な交流を視野に入れた文化芸術環境の向上	A	A	B
0604	かけがえのない文化財の保護、活用と伝承	A	A	A

<今後の方向性>

- ①すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり
 ・文化庁の全面的な移転の決定を踏まえ、文化を基軸としたまちづくりをこれまで以上に推進し、世界的な文化芸術都市・京都の創生を目指すため、継承と創造に関する人材の育成等、創造環境の整備、文化芸術と社会の出会いの促進の3点を重視し、文化芸術によるまちづくりを進める。
- ②歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援
 ・継承と創造に関する人材の育成においては、伝統芸能文化の更なる創生に向けた取組や、芸術家の育成・活動支援、文化芸術に親しみ、その楽しさを知る子どもたちの育成に取り組む。
- ③世界的な交流を視野に入れた文化芸術環境の向上
 ・ロームシアター京都については、新たな文化創造の場として世界文化自由都市・京都を発信する拠点として魅力ある自主事業の展開に努めるとともに、他の文化施設とも連携した事業を展開する。
- ④かけがえのない文化財の保護、活用と伝承
 ・かけがえのない文化財の保護、活用と伝承に向け、引き続き、指定・登録の対象物件調査に取り組む。

政策名	6	文化	
指標名	市民ふれあいステージ出演申込数（件）		
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先 366-0033	
1 指標の説明			
市民ふれあいステージ（市民に文化活動の場を提供し、多くの方が気軽に文化芸術に触れる機会を創出するため、市民参加型の催しとして、毎年10月に開催）への出演申込数			
2 指標の意味		3 算出方法・出典等	
文化芸術が市民の日常生活の中に溶け込んでいることを示す指標		出典：事業担当課調べ	
4 数値			
10年後（平成32年度）の目標値	平成23年度評価値 103	平成32年度目標値 —	根拠 平成27年度～平成31年度実績の最高値を目指す
	前回数値 28年度 99	最新数値 29年度 88	推移 11件減
	単年度目標値		根拠 過去5年間（平成24～28年度）の最高値（平成28年度）
数値	99		達成度 88.9%
	中長期目標		備考 H24 80件 H25 86件 H26 92件 H27 94件 H28 99件 H29 88件
数値	全国順位	数値	目標年次
			達成度
			根拠
5 評価基準		6 基準説明	
最新の数値が、過去5年間の a：最高値以上 b：上中間値（最高値と平均値の間）以上～最高値未満 c：平均値以上～上中間値未満 d：下中間値（平均値と最低値の間）以上～平均値未満 e：下中間値未満		申込数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較するため、過去5年間の数値をもとに、基準を設定した。 最高値：99（平成28年度） 平均値：90 最低値：80（平成24年度）	
		7 評価結果	
		28	29
		30	
		c	a
		d	

指標名	京都市芸術文化特別奨励制度応募者数（件）		
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先 366-0033	
1 指標の説明			
京都市芸術文化特別奨励制度（将来に向けて積極的な芸術文化活動を行う、若い芸術家等の育成を目的として奨励金を交付）への応募者数			
2 指標の意味		3 算出方法・出典等	
文化芸術の新たな創造活動が活発に行われていることを示す指標		出典：事業担当課調べ	
4 数値			
10年後（平成32年度）の目標値	平成23年度評価値 77	平成32年度目標値 82	根拠 平成24年度～26年度実績の平均値を目指す（京プラン実施計画 第2ステージ）
	前回数値 28年度 99	最新数値 29年度 62	推移 37人減
	単年度目標値		根拠 平成24年度～26年度実績の平均値
数値	99		達成度 75.6%
	中長期目標		備考 H24 72件, H25 85件, H26 90件, H27 57件 H28 99件, H29 62件
数値	全国順位	数値	目標年次
			達成度
			根拠
		82	32年度
		75.6%	京プラン実施計画 第2ステージ
5 評価基準		6 基準説明	
単年度目標値に対する達成度が a:100%以上 b:90%以上100%未満 c:80%以上90%未満 d:70%以上80%未満 e:70%未満		達成度100%以上をaとし、以下10%刻みで基準を設定	
		7 評価結果	
		28	29
		30	
		e	a
		d	

政策名	6	文化	
指標名	文化施設の年間入場者数（人）		
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先 366-0033	
1 指標の説明			
文化施設（動物園，美術館，二条城，無鄰菴）の利用者数			
2 指標の意味		3 算出方法・出典等	
幅広い市民が多彩な文化芸術に親しんでいることを示す指標		出典：事業担当課調べ	
4 数値			
10年後（平成32年度）の目標値	平成23年度評価値 3,125,718	平成32年度目標値 —	根拠 平成27年度～平成31年度実績の最高値を目指す
	前回数値 28年度 2,911,301	最新数値 29年度 3,412,973	推移 501,672人増
	数値	2,998,166	単年度目標値 根拠 過去5年間（平成24～28年度）の最高値（平成27年度） 113.8%
	全国順位	中長期目標	
	数値	目標年次	達成度
	数値		根拠
			備考 H24 2,213,718人(全体2,931,984人) H25 2,399,423人(全体3,304,860人) H26 2,368,061人(全体3,024,215人) H27 2,998,166人(全体4,401,124人) H28 2,911,301人(全体4,089,098人) H29 3,412,973人(美術館閉館中)
5 評価基準		6 基準説明	
最新の数値が、過去5年間の a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満		利用者数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較するため、過去5年間の数値をもとに、基準を設定した。なお、平成29年度から美術館が閉館しているため、美術館の入館者数を引いた人数で基準を設定する。 最高値：2,998,166（平成27年度） 平均値：2,578,134 最低値：2,213,718（平成24年度）	
7 評価結果		28	29
		a	a

指標名	本市が指定，登録した文化財の数（件）		
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先 366-1498	
1 指標の説明			
本市が指定，登録した文化財の数			
2 指標の意味		3 算出方法・出典等	
かけがえのない文化財が保護されていることを示す指標		算出方法：事業担当課調べ 出典：京都市教育委員会告示	
4 数値			
10年後（平成32年度）の目標値	平成23年度評価値 7	平成32年度目標値 —	根拠 平成27年度～平成31年度の指定，登録文化財件数の最高値を目指す
	前回数値 28年度 8	最新数値 29年度 10	推移 2件増
	数値	8	単年度目標値 根拠 過去5年間（平成24～28年度）の最高数値（平成27,28年度） 125.0%
	全国順位	中長期目標	
	数値	目標年次	達成度
	数値		根拠
			備考 H24 6件，H25 6件， H26 6件，H27 8件， H28 8件
5 評価基準		6 基準説明	
最新の数値が過去5年間の a：最高値以上 b：最高値未満～平均値超 c：平均値 d：最低値以上～平均値未満 e：最低値未満		指定・登録件数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較するため、過去5年間の数値をもとに、基準値を設定した。 最高値：8件（平成27,28年度） 平均値：6.8件 最低値：6件（平成24～26年度）	
7 評価結果		28	29
		a	a